

- 問1 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため | 2. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 3. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため | 4. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため |
|--|--|--|--|
- 問2 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 | 2. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 | 3. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。 | 4. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 |
|--|--|---|---|
- 問3 九州地方の南から日本の太平洋側に沿って流れる海流について、低緯度から流れてくる「暖流」であり、周辺地域に冬でも温暖な気候をもたらす特性を持つものの名称はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|---------|-------------|
| 1. 親潮（千島海流） | 2. リマン海流 | 3. 対馬海流 | 4. 黒潮（日本海流） |
|-------------|----------|---------|-------------|
- 問4 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 岐阜県 | 3. 沖縄県 | 4. 北海道 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 九州地方に位置し、阿蘇山周辺や平野部、干拓地などを活かした農業が盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い県はどこですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 高知県 | 3. 愛媛県 | 4. 熊本県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かれている。 | 2. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量には及ばない。 | 3. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。 | 4. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。 |
|---|---|---|---|
- 問7 土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。 | 2. 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。 | 3. 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいので、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。 | 4. 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。 |
|---|---|---|--|
- 問8 九州地方に位置するある県に関する統計において、第1次産業の就業者割合が10%を超えており、農業産出額が4000億円を上回る全国有数の規模となっています。また、この県の製造品出荷額で最も大きな割合を占める品目が「食料品」であるとき、あてはまる県名はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 静岡県 | 3. 山形県 | 4. 千葉県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問9 鹿児島県を中心に分布するシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心に行われてきた理由として、この土地の土壌が持つどのような性質が関係していますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため | 2. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の病気が発生しやすいため | 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いので、稲の成長が遅いため | 4. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
- 問10 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。 | 2. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。 | 3. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。 | 4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。 |
|--|--|---|--|
- 問11 熊本県における農業の地域的特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年間を通して降水量が非常に少なく乾燥しているため、水利用を抑えた小麦や大豆の栽培が主流である。 | 2. 冷涼な気候を生かした露地栽培が中心であり、夏季におけるキャベツやレタスの出荷量が全国一である。 | 3. 山間部の傾斜地を利用した果樹園が多く、みかんやすもなどの果実の生産額が県全体の過半数を占める。 | 4. 平野部や干拓地などを活用した農業が盛んで、全国屈指の農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い。 |
|--|--|--|--|
- 問12 阿蘇山などで見られる「カルデラ」が形成される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 波の浸食作用によって海岸の岩場が削られ、さらに地盤の沈降によって複雑に入り組んだ地形として形成される。 | 2. 火山から吹き出した火山灰や軽石が、長年にわたって周辺の平地に厚く降り積もることで形成される。 | 3. 地殻変動によって山脈の一部が激しく隆起し、その周囲が相対的に低くなることで形成される。 | 4. 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。
問2	答え 2 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問3	答え 4 黒潮（日本海流）	九州から本州の南側を流れるこの海流は、赤道付近の低緯度海域から熱を運んでくるため、沿岸の気候を暖かく保つ役割を果たしています。別名を日本海流と呼びます。これに対し、千島列島から南下してくる親潮（千島海流）は寒流であり、対馬海流は日本海側を流れる暖流です。
問4	答え 3 沖縄県	南西諸島に位置する沖縄県では、高温多湿で台風が多いという厳しい気候条件に対応した住居の工夫が受け継がれてきました。石垣には地元のサンゴ礁からなる石灰岩が使われることが多く、周囲に植えられるフクギは防風・防潮の効果が高い樹木として知られています。これらは、積雪対策を重視する北海道や、合掌造りが見られる岐阜県の白川郷などとは対照的な、地域特有の景観を形成しています。
問5	答え 4 熊本県	九州地方の熊本県は、阿蘇の外輪山麓や平野部、干拓地などを活用した農業が行われています。全国屈指の農業産出額を誇っており、トマトなどをはじめとする野菜の生産額が特に多いことが特徴です。
問6	答え 4 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。	日本のブリ類生産は、海面漁獲量よりも海面養殖業による収穫量の方が多いという構造になっています。養殖は鹿児島県（1位）、愛媛県（2位）、大分県（3位）、宮崎県（4位）、高知県（5位）と西日本の暖かな海域で盛んですが、特に鹿児島、大分、宮崎の九州3県によるシェアが非常に高いのが特徴です。一方、海面漁獲量では北海道が1位であり、長崎、島根、岩手、千葉と各地に分散しています。
問7	答え 3 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。	シラスは火山灰などの噴出物が積み重なってできた土壌であり、非常に水を通しやすい性質を持っています。台地の上では水がすぐに地下へ抜けてしまうため、古くから水不足に悩まされてきました。この問題を解決するために、鹿児島県の一部地域では60メートルを超えるような深い垂直の井戸を掘り、地下深くの帯水層から水を汲み上げる工夫がなされました。これは、関東地方の火山灰土である関東ローム層とは異なる、シラス特有の堆積の厚さと性質に起因するものです。
問8	答え 1 鹿児島県	鹿児島県はシラス台地が広がる地理的特性から、古くよりサツマイモの栽培や、豚・茶などの生産といった畜産業・畑作が非常に盛んです。第1次産業の就業者割合が全国平均と比べても高く、豊かな農畜産物を原材料とした食料品加工業が地域の製造業の中心を担っているため、製造品出荷額でも食料品が第1位となっています。
問9	答え 1 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。
問10	答え 3 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。	北九州工業地帯は、かつては筑豊炭田の石炭と中国からの鉄鉱石を利用した官営八幡製鉄所を中心に、金属工業が圧倒的な割合を占めていました。しかし、エネルギー革命による炭鉱の閉鎖や産業構造の変化を経て、現在は自動車産業を中心とした機械工業が発展しています。製造品出荷額の内訳でも、機械工業が約4割を占め、金属工業を上回る構成へと変化している点が重要な特徴です。
問11	答え 4 平野部や干拓地などを活用した農業が盛んで、全国屈指の農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い。	熊本県では、平野や干拓地などの自然条件を生かして多彩な農業が展開されています。全国でもトップクラスの農業産出額を記録しており、中でもトマトなどの野菜類の生産が非常に盛んです。
問12	答え 4 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味し、噴火によって地下のマグマが大量に失われた際、支えを失った火山の中央部が陥没（沈み込むこと）してできた地形です。火山灰が積もってできるのはシラス台地、波の浸食と沈水でできるのはリアス海岸であり、カルデラの形成過程とは異なります。